

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会 協会通信

NO. 44

心つなぐ足へのメッセージ

2023年 10月 発行

編集・発行 「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会 広報委員会
〒179-0085 東京都練馬区早宮3-12-5 TEL 03-3992-1824 Fax 03-3992-3309

「爪切り屋」メディカルフットケアJF協会



会長 宮川 晴妃

猛暑、水害、暴風、災害と地球は再生するために苦しんでいるのでしょうか。人間の欲望のためにかわり果て行く地球。神々の怒りを感じてしまいます。

会員の皆様は元気に活動なさっていますか、私も12月で86歳となります。まだまだ元気に頑張っております。

修了前・修了後にコミュニケーションについて学ぶ機会は少なく、フットケアワーカーのみなさんが日々悩んでいる事はありませんか。お客様との信頼関係の構築や情報共有、ケアへの動機づけ、フットケアワーカー（同僚）・多職種連携と働く中で、円滑なコミュニケーションをとることも大切なことです。

お客様中心のマインドと対話で紡ぐことも重要なことだと思います。 宮川晴妃

第46回 研修会報告（Zoom研修会）

フットケアワーカーが気をつけるべき皮膚科領域における爪疾患 済生会川口総合病院皮膚科部長 足育研究会 高山かおる先生



皮膚科学領域での
卓越した貢献を

マロホは、皮膚科学領域のスペシャリティファームとして、
医療の発展を支える世界中の人々への貢献を目指します。

maruho

7月29日上記タイトルで高山かおる先生に講演して頂きました。まず白癬について。爪白癬に類似した疾患は多数あり、経験を積んだ皮膚科医でも見た目で見分けた場合の正答率は6割強のデータ結果だったと。写真の3択問題で難しさを実感しました。皮膚科医の中でも見た目のみでの鑑別は誤診の可能性がある為、顕微鏡診断や、最新の白癬菌抗原キット(商品名 デルマクイック®爪白癬)を使用しての確定診断が重要との事でした。類似爪疾患で尋常性乾癬による爪疾患は、関節炎をまねきQOLの低下をきたす恐れがある疾患ですが、専用薬や爪母への光線療法で改善可能との事。フットケア現場において見た目で見分ける事は禁物。受診を促し、適切な治療とフットケアを併用する事が最善と改めて強く感じました。その後のセッションは。

・**爪がまっすぐに生える条件は?** エコーの実験映像から、爪床は末節骨膜に靭帯により外力を爪に与えてもほとんど影響を受けないほど強固にくっついている事。その爪床に爪甲がびったりとくっつき、後爪郭、側爪、爪床

にシールドされ、末節骨が真っ直ぐ前を向いていることで爪は前にまっすぐ生えられる。生えられない原因が、爪なのか骨にあるかの見極めも大切と。

・爪はなぜ肥厚するか?

肥厚爪は主に3種類に判別できる

爪の3層全体厚くなる厚硬爪甲→爪の便秘状態。

爪甲が重なり厚くなる爪甲鉤弯症

→爪の外傷の繰り返し。

爪甲の下に角質が出来て厚くなる

→爪甲下角質増殖は、爪白癬や爪床の出血、炎症。爪床の角化等原因は様々。

・**肥厚爪は治せるのか?** 爪甲鉤弯症で通院中の女性がコロナ禍で、パンプスを履かず過ごせた事で急に改善した事例から、靴の影響は確信に変わったと。フットケアとテーピングや靴の指導等試みたフットケア外来のデータで65%位の改善結果が得られたとの事。肥厚した爪甲は削って良く観察する。肥厚する理由、削る理由(物理的にあたることを解消。爪甲下出血を混在していることが多くぶつけている事が確認できる。汚れの原因を取り除ける。爪床の状態を確認しテーピング指導できる等)についてよく考えアプローチする事が大切とのお話でした。爪白癬は治療が必要で、直ぐにひどく肥厚するわけではないので、早く見つけて治療につなげ悪化させない事が大切と。

最新の爪白癬抗原キットの話題から、エコーや写真、沢山の映像データを交え解剖学的、理論的・統計学的な講演で、今後のフットケア活動に役立つ内容が沢山の貴重な研修会でした。

文責：御子柴

「開業・施術を行う上での危機意識～保険会社からの立場から」

藤澤知明先生

コンプライアンスとは、昔は企業などの法令遵守だったが、今はグローバル化に伴った人権意識の高まり、雇用形態の変化、SNS 等普及（それによる会社の評判・信用の普及）により、社会規範、会社関係の利益を守るということから、道徳的なところも全て含めてコンプライアンスという流れになってきている。

現在のコンプライアンスの考え方では、昔はこうだった…が、今は通用しなくなり、ハラスメント（いやがらせ・セクハラ・パワハラ・マタハラ…）として、コンプライアンス違反になることがある。それによるトラブルがどうしても増えている。

① SNS を使った場合の注意点

1. 情報漏洩…職務上知りえた機密情報（営業秘密、個人情報）の漏洩
2. 違法行為…悪ふざけ動画、著作権・肖像権の侵害
3. 差別発言…性差別、人種差別など差別的な発言
4. 倫理観の欠如…暴言、顧客を侮辱する・軽視する発言、不謹慎な発言、他者を不必要に侮辱・軽視する発言
5. センシティブな問題に関する発言…政治・歴史・戦争・宗教、環境問題などについて、特に自分の意見を一方的に押し付けるような発言

不適切な投稿は、実名アカウントはもちろん匿名であってもしてはいけない
匿名であっても、炎上した際には様々な方法で身分が特定されると考えるべき

- 一度投稿したものはもう消えない
- スクリーンショットなどで取られて、証拠として残ることもある
- 公開するということは、全世界に向けて発信すること
- 投稿というのは、様々な解釈が生まれる
- 炎上するとあっという間に、日本中、世界中にすぐ拡散されてしまう

② 著作権について

著作権とは創作した人（著作権者）が、その創作物（著作物）の利用を独占する権利

※著作物の利用とは、印刷、写真撮影、録音、録画、インターネット上の掲載など
著作権を侵害するとどうなるか

- 損害賠償の請求、裁判沙汰になり賠償金、利用の差し止め請求
- 刑事事件では、10年以下の懲役と1000万円以下の罰金、いずれかまたその双方になる
著作権の許可がなくても使っていいというルール（引用に当たれば、著作権者の許可がなくても、著作物を利用できる）
- 引用する必然性がある
- 鍵カッコをつけるなど、文章の中身を区別する
- 引用する他人のものは、内容をそのまま完全に使う
- 出典元をしっかりと明記する
- 未公開作品は引用できない
- 改変はしない

③ 情報保護

- ・個人情報提供している本人のものである
- ・会社や事業者は扱っているだけに過ぎない
- ・あくまでも相手のものでこちら側は扱っているだけのため、とても慎重に扱わないといけない
- ・危険性のあるような取り扱いはしないこと
- ・個人の知りえた情報だと勘違いして**利用目的以外に利用してはいけない**

※「個人情報」とは

特定の個人を識別できるもの、個人識別符号が含まれるもの、個人をすぐ特定できるもの、映像に顔が映っているもの、健康診断の結果用紙、要配慮個人情報（人種、健康診断の結果、犯罪の経歴、身体の障害）、マイナンバー、DNA、顔認証データ、指紋、パスポート番号、基礎年金番号、免許証番号など

- ・ 取り扱い時の注意点
 - 利用目的を本人に伝える
 - あらかじめ HP や店頭での掲示などでの公表
 - 利用目的を具体的に特定する
 - 個人情報を利用する際は本人からの同意を必ず得たうえで利用目的の範囲内で利用する
 - 本人の同意を得ずに、個人データを第三者に提供しない
- ・ 保存時の取り扱い
 - 個人データを保管・管理する際は漏洩しないよう安全管理措置を講じる
 - 鍵のかかる引き出しで保管
 - PC の場合はファイルのパスワードを設定する
 - セキュリティ対策のソフトウェアを導入する
 - 個人情報化記載された書類はシュレッダーか、焼却して破棄する
- ・ その他
 - メールや FAX の誤送信に気をつける
 - 個人情報を社外に持ち出すときは最新の注意を払う
 - 机の上やキャビネットの中を整理する
 - 個人情報が含まれている書類などをおきっぱなしにしない
 - 特に、要配慮個人情報については、慎重に取り扱い、むやみに口外しない

例えば・・・

1. A さんは B さんの連絡先を知りたいために C さんに B さんの連絡先を聞いた。
しかし、B さんの許可もなく、C さんは A さんに教えることはせず、まずは、B さんに連絡先を教えてよいか、確認を取って、許可が出たら教えることは可能になる
2. 知り合いだからと言って、勝手に写真や文章を使ってはいけない。必ず引用する必然性がある。
出展元をしっかりと明記する

JF 協会もしくは JF 協会会員と連絡取りたいときは事務局へお尋ねください
tsumekiriya.com@gmail.com

開業いたしました！

かず
和美容室

埼玉県：^{せきぐち}関口 ^{たかよ}尚代



久しぶりにフットサロンで母の爪切りをしてもらいました。母は糖尿病があり巻き爪で困っていましたが、ケアの後は「足が軽くなる。気持ちまで良くなった。」と言って嬉しかったです。私は「何のためにフットケアが良いのか」分からなかったのですが、母に勧められたこともあり、フットケア教室に通うことになりました。フットケアを学んでみて、フットケアの大切なことや重要性がわかってまいりました。今では、「美容室」と「爪切り屋」を営んでいます。糖尿病の両親のケアをしながら、お客様のフットケアも日々経験を活かして行っています。フットケアの大切なことのお話しをしながら、毎日が勉強と頑張っています。

取材〜伺う!!

広報委員が初体験の取材に挑戦しました。
快く引き受けて下さった関口さんに感謝です。
関口さんは難聴があり、コミュニケーションを取るのに補聴器と読唇術が必要です。耳に集中すると手が止まり、またパワーの消費が多く、体力のキープが大切と穏やかに話されました。

- * 開業：令和5年1月
- * フットケア営業日：週3日
- * お客様の年代層：60~80代
- * 大変だなと思う事：痛みを感じさせないようにケアを行う。
- * 大切にしている事：初心にもどる。困った爪をなおし喜んで頂く。
- ※ 経験を積み、どんな爪にも対応できるように頑張っていきたいと話される関口さん。エールを送りたいですね。 文責) 相川



理事会報告 (第93回 7/29) (第94回 9/18)

第93回(7/29)・第94回(9/18)理事会をzoomにて行いました。

内容は、研修会開催の流れのマニュアル作成の検討。個人情報取り扱いについて、理事退任時の会員の個人情報の取り扱い・「理事会役員就任承諾書」の見直しについて。協会入会状況、年会費の納入状況。地域活動報告。2023年度前期分請求書の期日について。

教育委員会より、7/29当日のzoom研修会、11/26対面研修会について。

広報委員会より、広報誌「43号」「44号」、発送物について。今後の予定。などの話し合いをしました。

〜編集後記〜

今号の協会通信は、7月29日に行われました講習会の内容に特化しております。皆様のスキルアップやコンプライアンスについての再確認の手助けとなりましたらと、企画したものです。今後も皆様のお役に立てるような広報誌作りにご意見、ご投稿をお待ちしております。ご協力をお願い致します。 小泉